交換用バッテリパック

BUB100R/BUB300R 取扱説明書

本製品は、BU75RW/BU100RW/BUM100R 用 (BUB100R)、BU200RW/BU300RW/BUM300R 用 (BUB300R) の交換用バッテリパックです。

目　次

安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

■この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

危 険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注 意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

：禁止（してはいけないこと）を示します。例えば は分解禁止を意味しています。

：強制（必ずしなければならないこと）を示します。例えば はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 意（バッテリ交換時）

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

● バッテリは落下しないよう、しっかりと保持してください。

● 落下によるけが、液漏れ（酸）によるやけどなどの危険があります。

指定以外の交換バッテリは使用しないこと。

● 火災の原因となることがあります。

● 商品型式：

BUB100R (BU75RW/BU100RW［1 個必要］、BUM100R［2 個必要］)
BUB300R (BU200RW/BU300RT［1 個必要］、BUM300R［2 個必要］)

⚠ 注 意（バッテリ交換時）

可燃性ガスがある場所でバッテリ交換をしないこと。
- バッテリを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。

バッテリから液漏れがあるときは液体（希硫酸）に触らないこと。
- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

バッテリの分解、改造をしないこと。
- 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどの恐れがあります。

バッテリを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。
- 希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリを金属物でショートさせないこと。
- 感電、発火、やけどの恐れがあります。
- 使用済みバッテリでも内部に電気エネルギーが残っています。

バッテリを火の中に投げ入れたり 、破壊したりしないこと。
- バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

新しいバッテリと古いバッテリを同時に使用しないこと。
- 希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリ交換の際、バッテリ収納口に手を入れないこと。
- 感電ショートの危険があります。
- 金属物を中に差し込まないでください。

バッテリ接続コネクタ、増設コネクタに金属物を挿入しないこと。
- 感電する恐れがあります。

梱包のポリ袋やフィルム類は幼児の手の届かない場所に移してください。
- 小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。

◆お願い◆

この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。
- 鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
- リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。

バッテリの保管（使用していない状態）可能期間は、完全充電状態から約 6 ヶ月です。（保管温度 25℃以下の場合。40℃以下の場合は約 2 ヶ月です。）
- バッテリは使用しなくても内部で自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となり、バックアップ時間が短くなったり、ご使用できなくなることがあります。
- バッテリは保管中にも劣化が進み、寿命が短くなります。早目にご使用を開始してください。
- バッテリご購入後 6 ヶ月以内にご使用を開始してください。
  無停電電源装置（UPS）に取り付けて保管される場合は、保管前に 8 時間以上充電をし、保管中は電源スイッチを「切」にしてください。保管期間が 6 ヶ月を超える場合、超える前に無停電電源装置（UPS）を 8 時間以上商用コンセントに接続し、バッテリの再充電を行ってください。
- 保管を継続される場合は、保管温度 25℃以下の場合には以後 6 ヶ月ごと、40℃以下の場合には 2 ヶ月ごとに再充電を行ってください。

1.　付属品を確認する

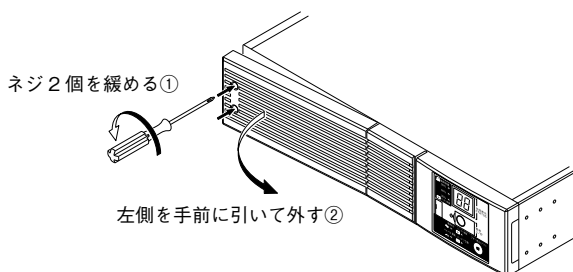
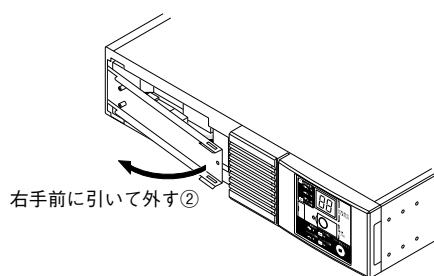
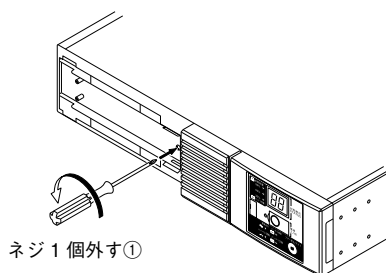
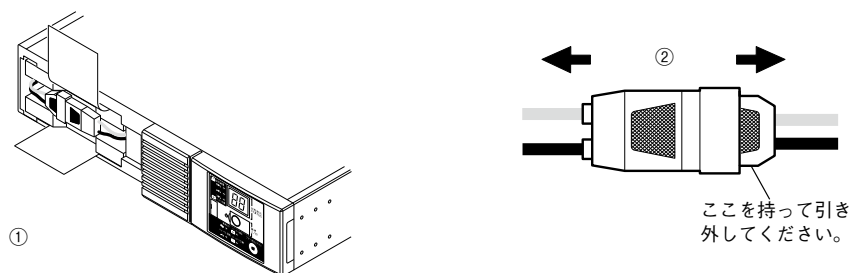
付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。
万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店へご連絡ください。

● 取扱説明書 (本書) .... 1 冊
● バッテリパック固定用ネジ（予備）.. 2 本
● バッテリ使用日開始シール .... 1 枚

2.　バッテリの交換

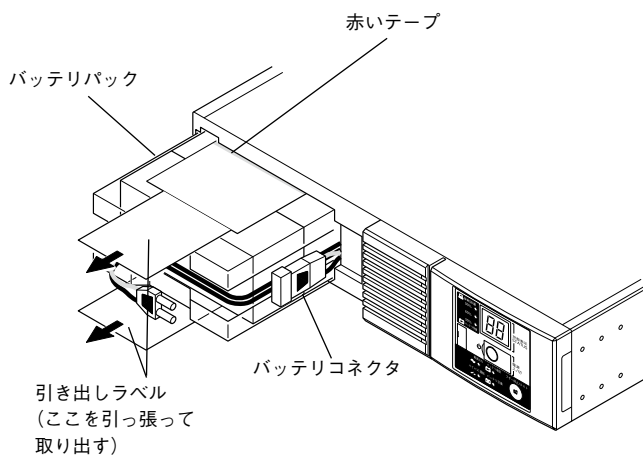
2-1.無停電電源装置（UPS）のバッテリの交換方法

BU75RW/BU100RW の場合

1.　本機のフロントパネル左側にあるネジ２個をドライバーで反時計回りにネジが空回りするまで緩めます。
（ネジはフロントパネルから外れない構造になっています。）①
フロントパネルを手前に引いて外します。②

2.　板金カバーを止めてあるネジ１個を反時計回りに回して外します。①
板金カバーの右側を手前に引いて外します。②

3.　バッテリコネクタを取り①、コネクタをの接続を外します。②

4.　バッテリパック上下の引き出しラベルを持って、バッテリパックを取り出します。

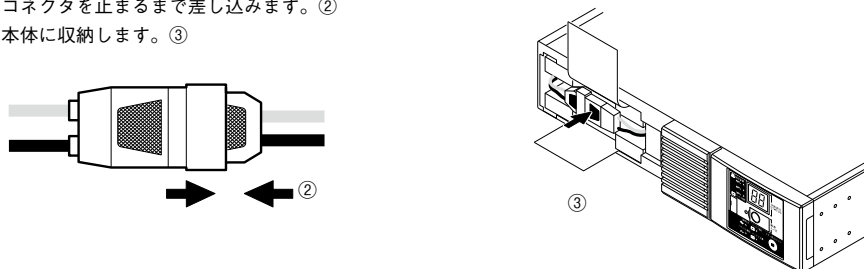
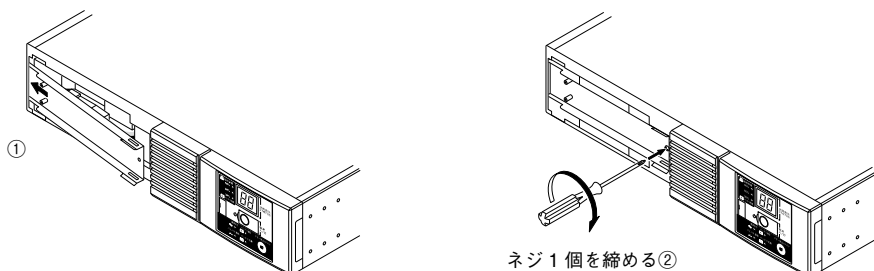
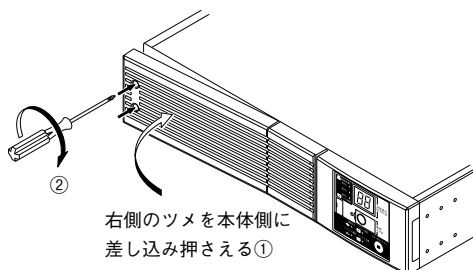
⚠ 注 意

バッテリパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

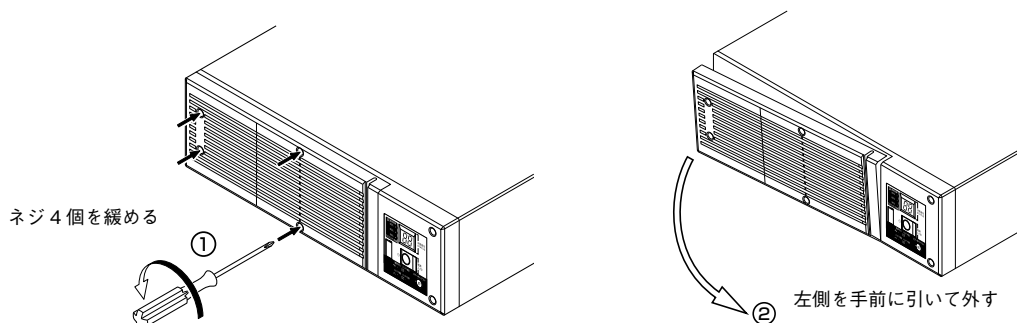
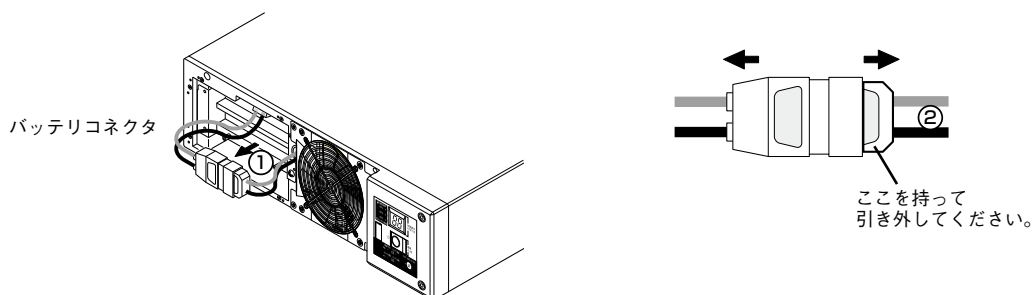
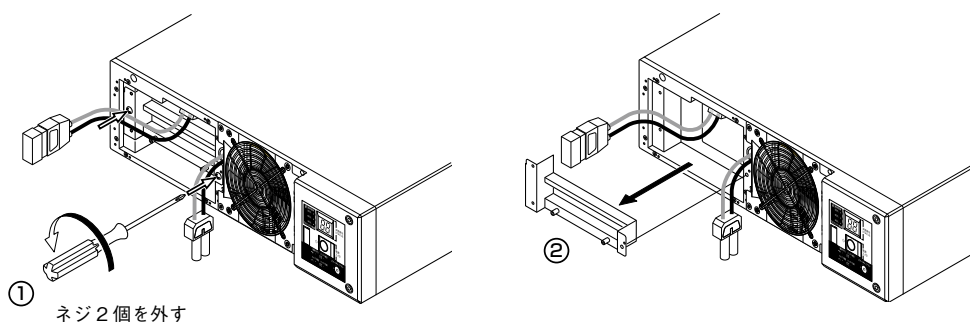
バッテリパック天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと 10cm でバッテリが完全に取り出せます。バッテリをしっかりと持ち、バッテリを落とさないよう注意してください。

5.　新しいバッテリを傾けないように真っ直ぐ本機の奥まで挿入し、収納します。①

●交換用バッテリパック

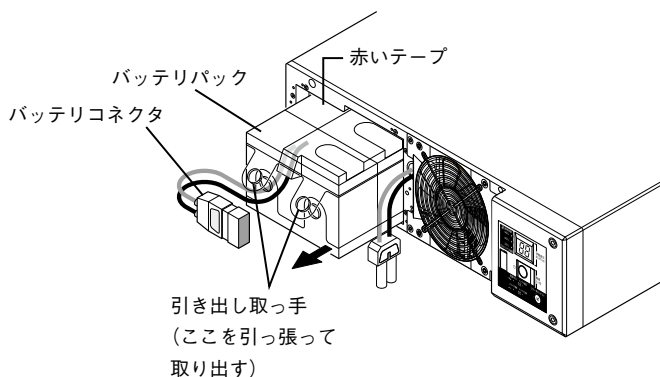
BU75RW/BU100RW 用：型式名 BUB100R

コネクタを止まるまで差し込みます。②
本体に収納します。③

6. 板金カバーを取り付けます。
板金カバー左側のツメを BU75RW/BU100RW 内側の穴に差し込んだ後①、BU75RW/BU100RW 側へ押さえます。
板金カバー右側を外したネジ 1 個でしっかりと締め付けます。

7. フロントパネルを取り付けます。
フロントパネル右側のツメを本体側の穴に差し込んだ後、本体側へ押さえます。①
フロントパネル左側にあるネジ 2 個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。②

以上でバッテリ交換は終了です。

BU200RW/BU300RW の場合

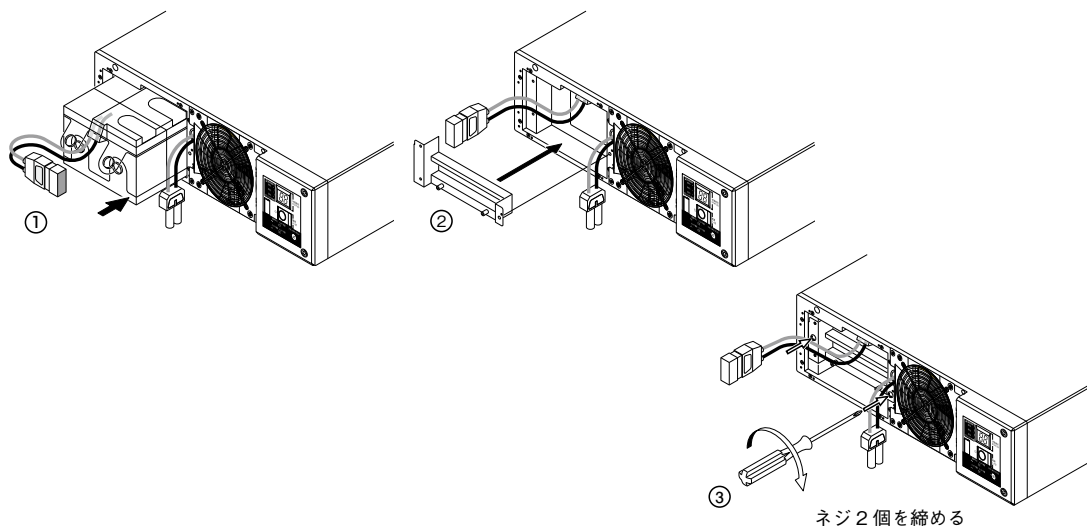
1. 本機のフロントパネルにあるネジ 4 個をドライバーで反時計回りにネジが空回りするまで緩めます。
（ネジはフロントパネルから外れない構造になっています。）①
フロントパネルの左側を手前に引いて外します。②

2.　本板金カバーからバッテリコネクタを取り①、コネクタの接続を引き外します。

3.　板金カバーを止めてある左右のネジ 2 個を反時計回りに回して外します。①
板金カバーの右側を手前に引きながら外します。②

4.　バッテリパック下段の引き出しラベルを持って、バッテリパックを取り出します。

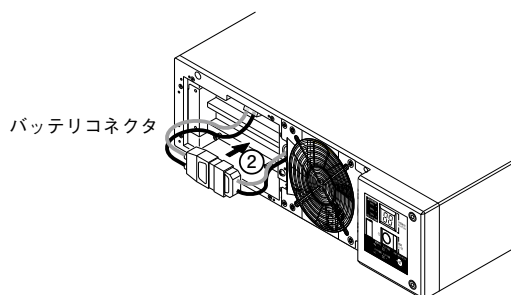
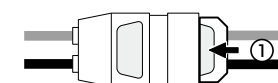
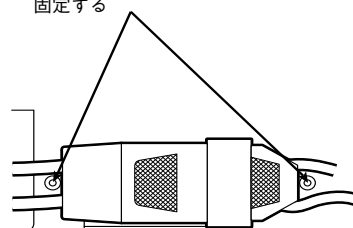
⚠ 注 意
バッテリパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

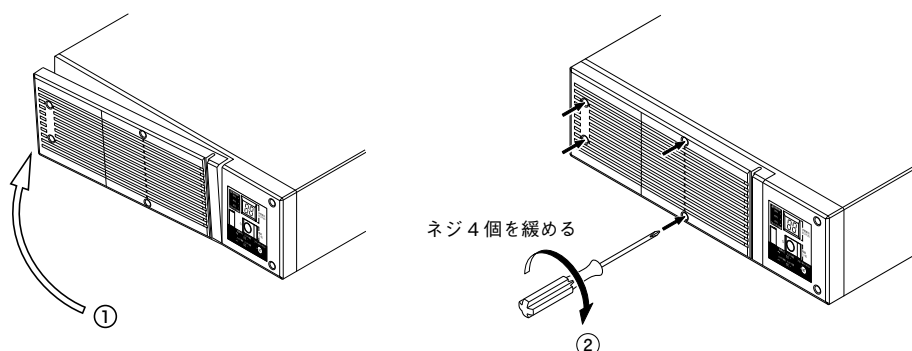
バッテリパック天面に貼ってある赤いテープが見えたら､あと 10cm でバッテリが完全に取り出せます。
バッテリを両手でしっかりと持ち、バッテリを落とさないよう注意してください。

5.　新しいバッテリを本機の奥まで挿入し、収納します。①

●交換用バッテリパック

BU200RW/BU300RW 用：型式名 BUB300R

板金カバーを取り付けます。②
外したネジ２個をドライバーで時計回りに回し、しっかり締め付けてください。③
右側のネジから先に固定してください。
左側のネジが締めやすくなります。
このとき、板金カバーでケーブルを挟まないように注意してください。

6.　コネクタを止まるまで差し込みます。①
コネクタを板金カバーに固定します。②

本機の運転を停止して交換する場合、コネクタ接続時に“バチッ”と音がすることがありますが異常ではありません。

板金カバーに固定できない場合はコネクタが完全に差し込まれていません。
再度、コネクタを差し込みなおしてください。

7.　フロントパネルを取り付けます。
フロントパネル右側のツメを本体側の穴に差し込んだ後、本体側へ押さえます。①
フロントパネルにあるネジ4個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。②

以上でバッテリ交換は完了です。

<運転状態のまま交換した後は・・・>
「ブザー停止 / テスト」スイッチを 10 秒以上押し、自己診断テストを実施してください。約 10 秒のテスト後に正常運転に戻ります。ブザー音が鳴っている場合は、1 回目にスイッチを押すとブザー音が停止します。次にもう一回スイッチを押すと「テスト」をスタートします。交換前に「バッテリ交換」表示、ブザーが出ていた場合は、テスト完了後に表示・ブザーが停止し正常運転に戻ります。

<運転を停止して交換した後は・・・>
「AC 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続し、無停電電源装置（UPS）の「電源」スイッチを入れてください。運転開始時、自動的に自己診断テストを実施します。約 10 秒のテスト後に正常運転に戻ります。

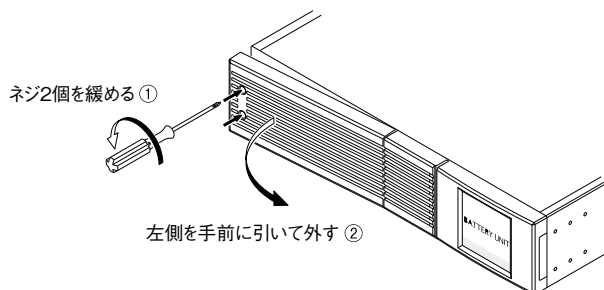
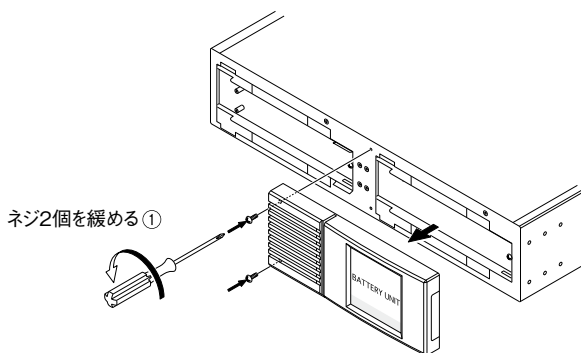
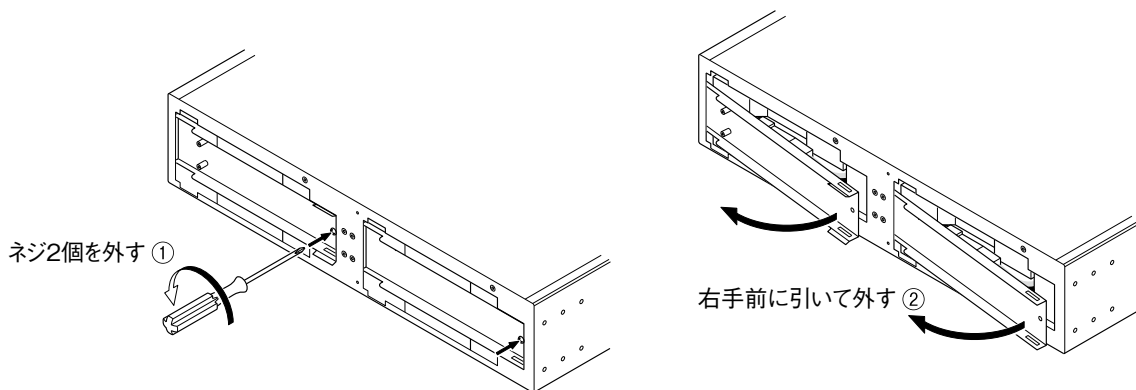
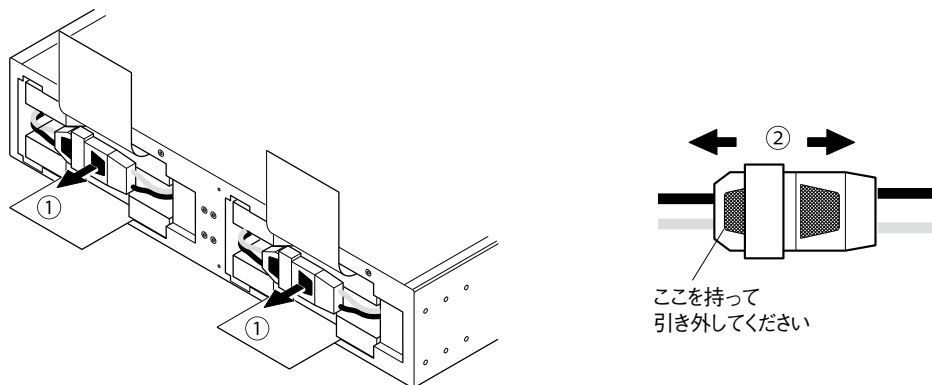
付属の「バッテリ使用開始日」シールに使用開始日を記入し、本体に貼付してください。なお、無停電電源装置（UPS）に添付の自動シャットダウンソフトをご使用いただければ、本ソフトにて使用開始時期を管理いただけます。

◆お願い◆

この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。
●鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
●リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。

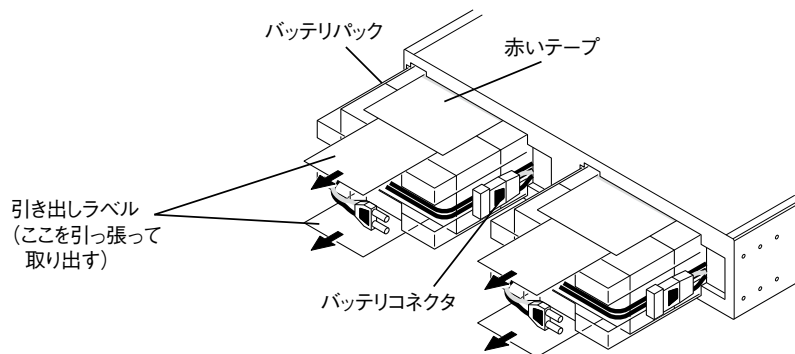
2-2. 増設用バッテリユニットのバッテリの交換方法

BUM100R の場合

1. BUM100R 前面部左側パネルにあるネジ 2 個をドライバーで反時計回りにネジが空回りするまで緩めます。（ネジはフロントパネルから外れない構造になっています。）①
   フロントパネルを手前に引いて外します。②

2. 前面部右側パネル（"BATTERY UNIT" ロゴのある部分）にあるネジ 2 個をドライバーで緩め、パネルを外します。①

3. それぞれの板金カバーを止めてあるネジ (右側に 1 個ずつ) を反時計回りに回して外します。①
   板金カバーを右側手前に引いて外します。②

4.　板金カバーからバッテリコネクタ２個を取り①、コネクタの接続を外します。②

5.　バッテリパック上下の引き出しラベルを持って、左右のバッテリパックを取り出します。

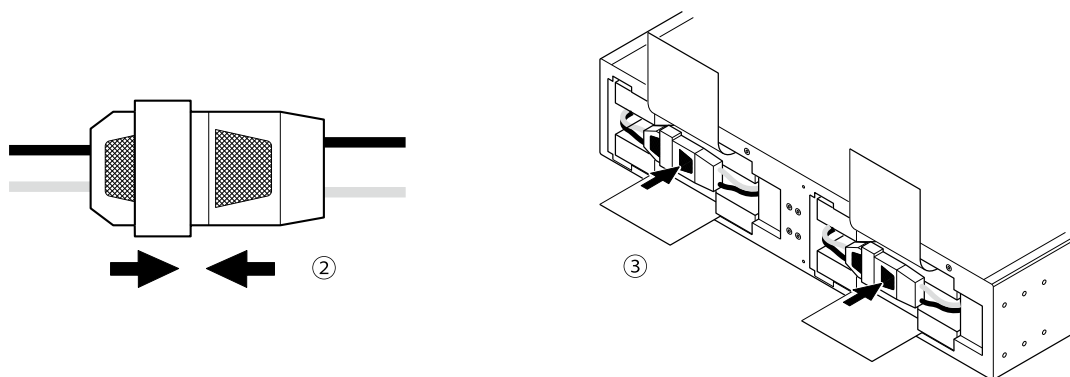
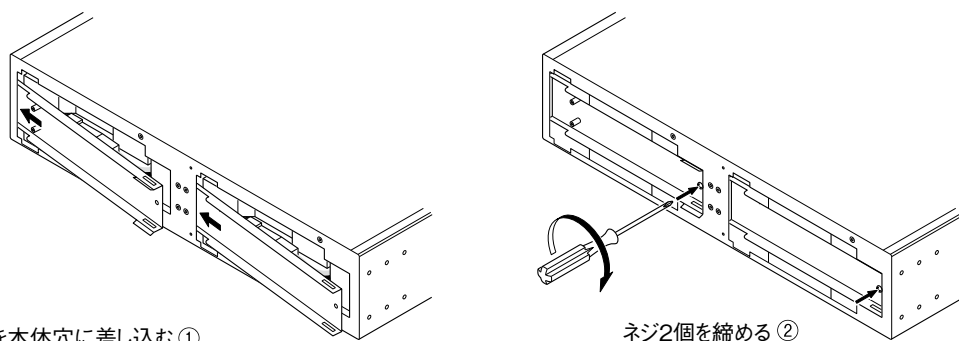
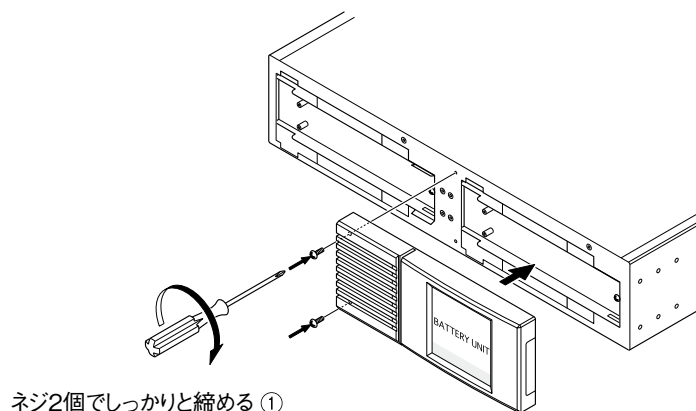
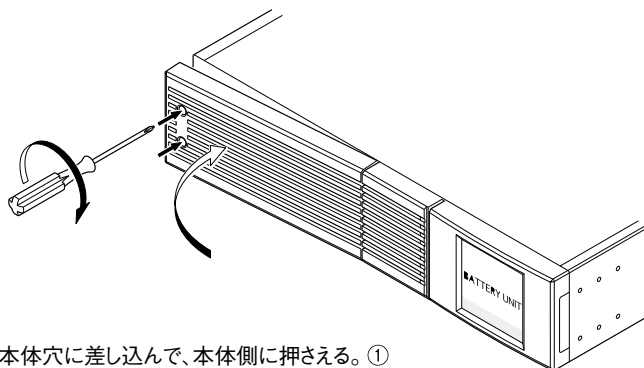
⚠ 注 意

バッテリパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

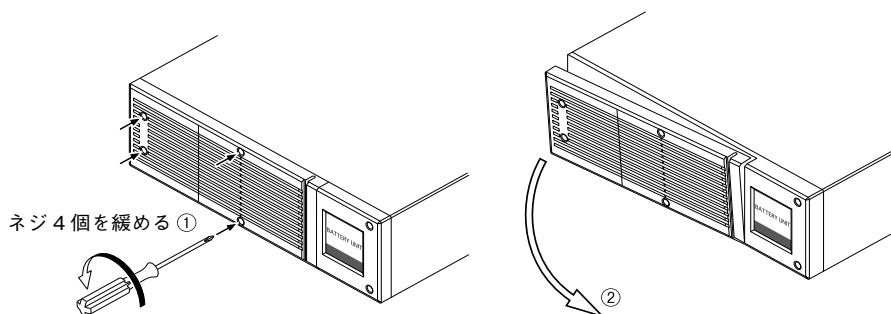
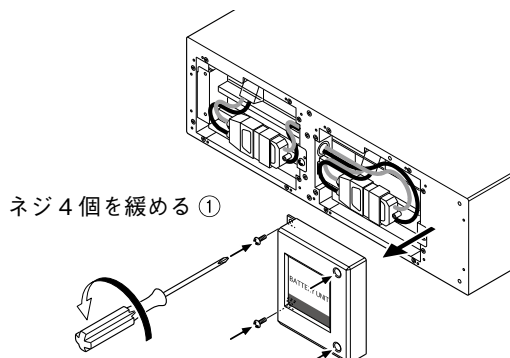
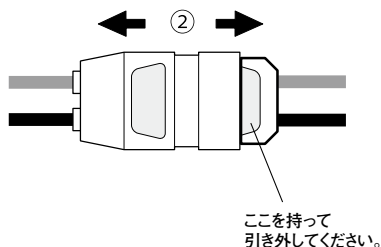
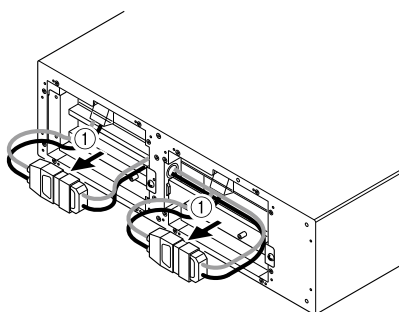
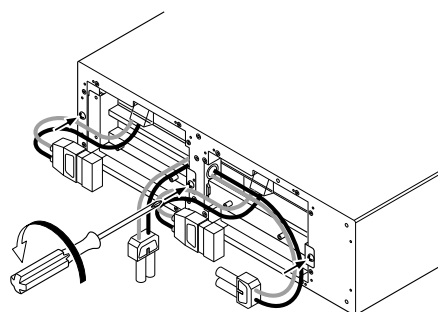
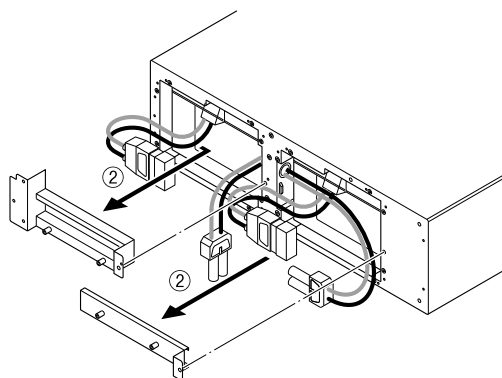
バッテリパック天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと10㎝でバッテリが完全に取り出せます。
バッテリをしっかりと持ち、バッテリを落とさないよう注意してください。

6. 新しいバッテリパックを傾けないように真っ直ぐ増設バッテリユニットの奥まで挿入し、収納します。①

●交換用バッテリパック

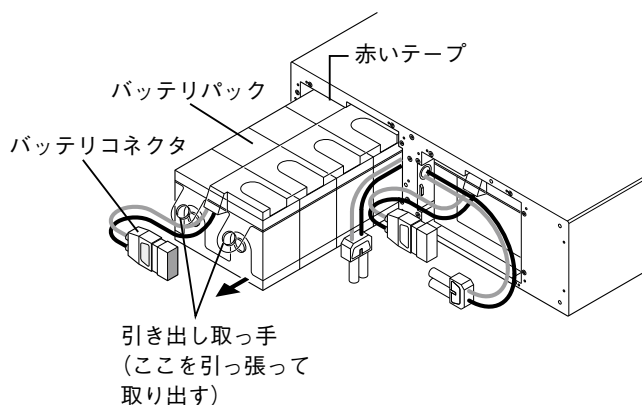
BUM100R 用：型式名 BUB100R（2 個必要）

バッテリコネクタを止まるまで差し込みます。②
それぞれ本体に収納します。③

7. 板金カバーを取り付けます。
それぞれの板金カバー左側のツメをBUM100R内側の穴に差し込んだ後①、BUM100R側へ押さえます。
板金カバー右側を外したネジそれぞれ1個ずつでしっかりと締め付けます。

8. 前面部右側パネル（“BATTERY UNIT” のロゴのある部分）を取り付けます。
パネル左側をネジ 2 個でしっかりと締め付けます。①

9.　前面部左側パネルを取り付けます。
右側のツメを本体側に差し込んだ後、本体側に押さえます。①
パネル左側にあるネジ2個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。②

以上でバッテリ交換は完了です。

BUM300R の場合

1.　増設バッテリユニットのフロントパネルにあるネジ4個をドライバーで反時計回りにネジが空回りするまで緩めます。（ネジはフロントパネルから外れない構造になっています。）①
フロントパネルの左側を手前に引いて外します。②

2.　前面部右側パネル（”BATTERY UNIT”ロゴのある部分）にあるネジ4個をドライバーで緩め、パネルを外します。①

3.　板金カバーからバッテリコネクタ２個を取り外し①、コネクタを引き外します。②

4.　それぞれの板金カバーを止めてあるネジ（左側 2 個、右側 1 個）を反時計回りに回して外します。①
板金カバーを右側にずらしながら手前に引き、取り外します。②

5.　バッテリパックの引き出し取っ手を持って、バッテリパックを取り出します。

⚠ 注 意
バッテリパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

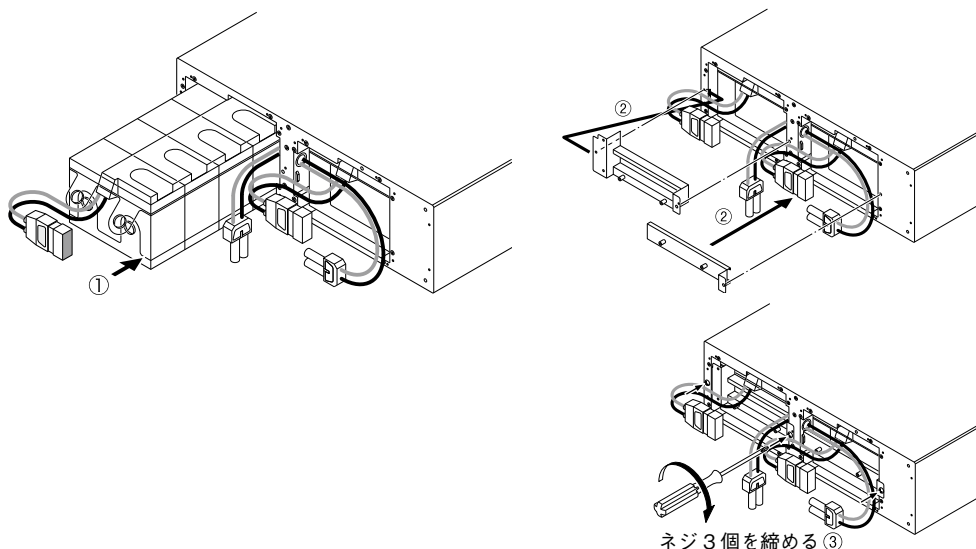
バッテリパック天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと 10cm でバッテリが完全に取り出せます。
バッテリを両手でしっかりと持ち、バッテリを落とさないよう注意してください。

6.　新しいバッテリパックを増設用バッテリユニットに奥まで挿入し、収納します。①

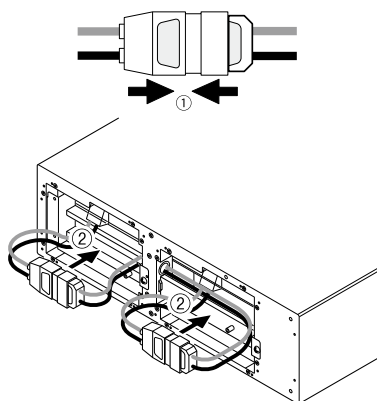
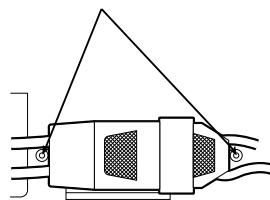
●交換用バッテリパック

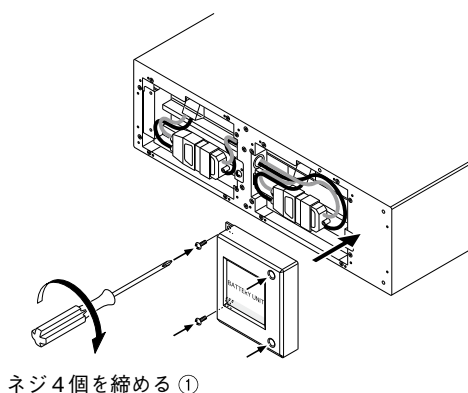
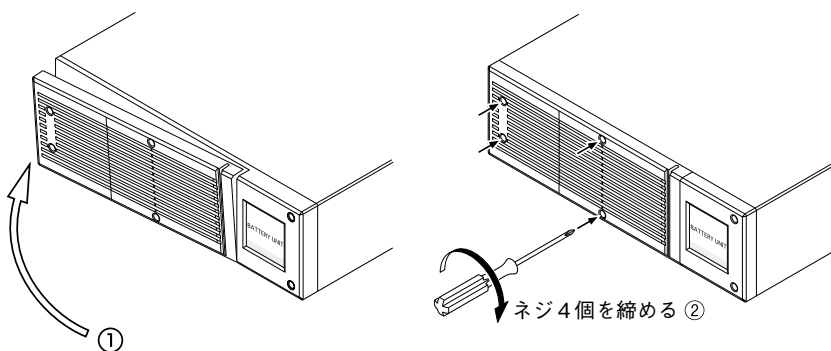
BUM300R 用：型式名 BUB300R（2 個必要）

板金カバーを取り付けます。
板金カバー左側のツメを増設用バッテリユニットの穴に差し込んだ後、増設用バッテリユニット側へ押さえます。②

板金カバー左側部分は、必ず増設バッテリユニットのケースの内側にはめ込んでください。

外したネジ 3 個（左側 2 個、右側 1 個）をドライバーで時計回りに回し、しっかり締め付けてください。③
このとき、板金カバーでケーブルを挟まないように注意してください。

7.　コネクタを止まるまで差し込みます。①
コネクタを板金カバーに固定します。②

本機の運転を停止して交換する場合、コネクタ接続時に“バチッ”と音がすることがありますが異常ではありません。

板金カバーの 2 つの支柱の間にコネクタをはめ込んで固定する

**板金カバーに固定できない場合はコネクタが完全に差し込まれていません。
再度、コネクタを差し込みなおしてください。**

8. 前面部右側パネル（”BATTERY UNIT”ロゴのある部分）を取り付けます。
パネル４隅にあるネジ４個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。①

9. フロントパネルを取り付けます。
フロントパネル右側のツメを増設バッテリユニット側の穴に差し込んだ後、増設用バッテリユニット側へ押さえます。①
フロントパネルにあるネジ４個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。②

以上でバッテリ交換は完了です。

<運転状態のまま交換した後は・・・>

無停電電源装置（UPS）の「ブザー停止 / テスト」スイッチを 10 秒以上押し、自己診断テストを実施してください。約 10 秒のテスト後に正常運転に戻ります。ブザー音が鳴っている場合は、1 回目にスイッチを押すとブザー音が停止します。次にもう一回スイッチを押すと「テスト」をスタートします。

交換前に「バッテリ交換」表示、ブザーが出ていた場合は、テスト完了後に表示・ブザーが停止し正常運転に戻ります。

<運転を停止して交換した後は・・・>

「AC 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続し、無停電電源装置（UPS）の「電源」スイッチを入れてください。運転開始時、自動的に自己診断テストを実施します。約 10 秒のテスト後に正常運転に戻ります。

付属の「バッテリ使用開始日」シールに使用開始日を記入し、本体に貼付してください。なお、無停電電源装置（UPS）に添付の自動シャットダウンソフトをご使用いただければ、本ソフトにて使用開始時期を管理いただけます。

◆お願い◆

この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。

●鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力下さい。
●リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡下さい。

● **交換済みの不要バッテリはお客様のご負担は送料のみの無償引取りを行っております。詳しくは別紙、「UPS リプレイスサービス」引取依頼書をご参照ください。**

K1L-D-08027D